１．実施機関

国立大学法人京都大学

２．企画名

科学体系と創造性がクロスする知的卓越人材育成プログラム（略称　ELCAS）

３．総合評価コメント

企画実施期間終了後、他の実施機関に先立って自立的に企画を継続させ、次年度以降の学内経費を確保しつつ、大学の特性を生かした企画を展開している点が評価できる。また、全学的かつ体系的に組織された実施体制のもと、関西を中心に広域の教育委員会と連携し、受講生の募集・一次選抜では多くの生徒を集めるとともに、選抜方法を改善しながら有効に機能させ、意欲・能力の高い受講生を選抜していた点も良い。受講生の評価においては、ルーブリックを受講生と共有することで受講生の自己評価の指針とし、担当教員に対しても説明会の開催や個別の説明を行うことで評価に関して周知を図るなど、受講生の成長を促す工夫がみられた。また、外国語論文発表等では当初の目標に対して未達成の部分があるものの、受講生の研鑽と研究成果を発信する機会として先駆的に論文誌「ELCAS Journal」を発刊したことも評価できる。

今後、実施体制の維持と更なる長期的な企画の継続、積極的な情報発信等による企画の成果・教育プログラムの社会への普及・展開、および本企画の内容を検証した、発展的な展開を期待する。